

前 期							後 期								
曜日	日	月	火	水	木	金	土	曜日	日	月	火	水	木	金	土
4月			1	2	3	4	5	10月				1	2	3	4
	6	7	8	9	10	11	12		5	6	7	8	9	10	11
	13	14	15	16	17	18	19		12	13	14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25	26		19	20	21	22	23	24	25
	27	28	29	30					26	27	28	29	30	31	
5月					1	2	3	11月							1
	4	5	6	7	8	9	10		2	3	4	5	6	7	8
	11	12	13	14	15	16	17		9	10	11	12	13	14	15
	18	19	20	21	22	23	24		16	17	18	19	20	[21]	22
	25	26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
									30						
6月	1	2	3	4	5	6	7	12月		1	2	3	4	5	6
	8	9	10	11	12	13	14		7	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20	21		14	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27	28		21	22	23	[24]	[25]	[26]	27
	29	30							28	29	30	31			
7月			1	2	3	4	5	1月					1	2	3
	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9	10
	13	14	15	16	17	18	19		11	12	13	14	15	16	17
	20	21	22	23	24	25	26		18	19	20	21	22	23	24
	27	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31
8月					[1]	2		2月	1	2	3	4	5	6	7
	3	4	5	6	[7]	[8]	9		8	9	10	11	12	13	14
	10	11	12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21
	17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28
	24	25	26	27	28	29	30								
	31														
9月		1	2	3	4	5	6	3月	1	2	3	4	5	6	7
	7	8	9	10	11	12	13		8	9	10	11	12	13	14
	14	15	16	17	18	19	20		15	16	17	18	19	20	21
	21	22	23	24	25	26	27		22	23	24	25	26	27	28
	28	29	30						29	30	31				
前期計	15	15	15	15	15			後期計	15	15	15	15	15		

↑ 7月17日を含む  
5月7日を含む

↑ 11月27日及び1月8日を含む

は休業日及び臨時休講、○ は期末試験日、

は月曜日又は火曜日の授業を行う日、【 】 は補講日

## Ⅳ 岡山大学環境理工学部履修細則

(趣 旨)

第1条 この細則は、岡山大学環境理工学部規程（平成16年岡大環第1号）第9条及び第20条の規定に基づき、岡山大学環境理工学部における授業科目及び単位数並びに卒業の要件に関し、必要な事項を定めるものとする。

(教養教育科目及び専門教育科目)

第2条 教養教育科目及び専門教育科目の授業科目、単位数及び履修方法は、別表に定める学科カリキュラムのとおりとする。ただし、教養教育科目は、学年の始めに岡山大学教育開発センター長が公示する授業科目とする。

(卒業論文履修資格)

第3条 卒業論文（環境数理学科においては情報課題研究を含む。）を履修できる者は、3年以上在学し、次の表に定める要件を満たした者とする。

学 科	要 件
環 境 数 理 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 教養教育科目（3項の科目を含む） 24単位以上 3. 教養教育科目の外国語科目 10単位以上 4. 必修の専門教育科目 33単位以上
環境デザイン工学科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 必修の教養教育科目 教養教育科目の英語 （基礎英語及び上級英語を除く） 必修の専門教育科目 } 39単位以上
環 境 管 理 工 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 必修の教養教育科目 必修の専門教育科目 } 56単位以上
環 境 物 質 工 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 102単位以上 2. 教養教育科目の外国語科目 8単位以上 3. 必修の専門教育科目（必修実験を含む） 41単位以上

2 環境管理工学科及び環境物質工学科においては、学科の定める卒業要件単位数以上修得した教養教育科目単位は、前項に規定する卒業要件として認められる単位には含まれないものとする。

(専門基礎科目)

第4条 専門基礎科目は学部共通の授業科目とする。学部が開講する専門基礎科目は、第2条別表に定める学科カリキュラムにかかわらず、履修することができる。

2 学科の定める卒業要件単位数以上修得した専門基礎科目単位の取扱いは、次のとおりとする。

環境数理学科 : 卒業要件単位 [自由科目]

環境デザイン工学科 : 卒業要件外

環境管理工学科 : 卒業要件単位 [選択科目]

環境物質工学科 : 卒業要件外

(他学科及び他学部履修)

第5条 他学科及び他学部履修により修得した単位は、各学科の定めるところにより選択科目又は自由科目とすることができる。

附 則

1 この細則は、平成16年4月1日より施行する。ただし、平成15年度以前の入学者については、な

お従前の例による。

- 2 前項ただし書きの規定にかかわらず，第3条の表のうち環境デザイン工学科の欄の規定にあつては，平成15年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この細則は，平成17年4月1日より施行する。ただし，平成16年度以前の入学者については，なお従前の例による。
- 2 前項ただし書きの規定にかかわらず，環境数理学科の平成15年度及び平成16年度入学者にあつては，第3条の表の要件の欄中1. 卒業要件として認められる単位及び4. 必修の専門教育科目の単位数をそれぞれ98単位以上及び24単位以上とする。

附 則

この細則は，平成18年4月1日より施行する。ただし，平成17年度以前の入学者については，なお従前の例による。

附 則

この細則は，平成19年4月1日より施行する。ただし，平成18年度以前の入学者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は，平成20年4月1日から施行する。
- 2 ただし，第3条の表のうち環境デザイン工学科の欄の規定にあつては平成19年度以前入学者については，なお，従前の例による。
- 3 改正後の別表の規定にかかわらず，平成19年度以前の入学者については，なお従前の例による。

別表  
学科カリキュラム

■環境数理学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講 Semester								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境数理学概論	○								2			2		
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8以上	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	○	○	○	○										
	健やかに生きる	○	○	○	○										
	自然と技術	○	○	○	○										
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○						2以上	4単位まで			
	自然科学	○	○	○	○						2以上	(数理系, 統計学系の科目を除く)			
	生命・保健科	健康・スポーツ科学	○	○	○	○								2単位まで	
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○										1単位まで	
情報科学												卒業要件単位外			
外 国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工1)		○							2	8単位まで			
		英語 (ネイティブ)	○								2				
		英語 (オラコン), 英語 (作文・文法), 英語 (読解), 英語 (検定)			○	○								4	
		基礎英語													卒業要件単位外
		上級英語	○	○	○	○									
		英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○					
	ドイ ツ 語	ドイツ語初級	○	○								4以上	8単位まで		
		ドイツ語中級			○	○									
	フ ラ ンス 語	フランス語初級	○	○											
		フランス語中級			○	○									
	中 国 語	中国語初級	○	○											
		中国語中級			○	○									
	韓 国 語	韓国語初級	○	○											
		韓国語中級			○	○									
	ロ シ ア 語	ロシア語初級													
		ロシア語中級													
	ス ペ イ ン 語	スペイン語初級													
		スペイン語中級													
	イ タ リ ア 語	イタリア語初級													
		イタリア語中級													
日 本 語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○									留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる	
教養教育科目 計														30	

(注) 1 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

2 「個別科目」の「自然科学」の中から、物理、化学を主たる内容とする科目（実験を除く）から必ず2単位以上取得すること。ただし専門基礎科目「現代の物理学」、「現代の化学」をもってこれに代えることができる。



■環境デザイン工学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位	
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件		
ガイダンス科目	環境デザイン工学概論	○								2			2	
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	○	○	○	○									
	健やかに生きる	○	○	○	○									
	自然と技術	○	○	○	○									
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○							6単位まで		
	自然科学	○	○	○	○					4	6単位まで			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○						2単位まで		
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○								1単位まで		
情報科学											卒業要件単位外			
外国 語 科 目	英語	英語 (環境理工 2)		○							2	8単位まで		
		英語 (ネイティブ)	○								2			
		英語 (オラコン), 英語 (作文・文法), 英語 (読解), 英語 (検定)			○	○								4
		基礎英語												卒業要件単位外
		英語特別演習 (1, 2)												卒業要件単位外
		上級英語	○	○	○	○								4
	ドイツ語	ドイツ語初級	○	○										
		ドイツ語中級			○	○								
	フランス語	フランス語初級	○	○										
		フランス語中級			○	○								
	中国語	中国語初級	○	○										
		中国語中級			○	○								
	韓国語	韓国語初級	○	○										
		韓国語中級			○	○								
	ロシア語	ロシア語初級												
		ロシア語中級												
	スペイン語	スペイン語初級												
		スペイン語中級												
	イタリア語	イタリア語初級												
		イタリア語中級												
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○						留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる			
教養教育科目 計												32		

(注) 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

専門教育科目

科 目 区 分	授 業 科 目	週 授 業 時 間 数								単 位			履修要件	卒業要件 単 位	
		1年次		2年次		3年次		4年次		必修	選択必修	選択			
		前	後	前	後	前	後	前	後						
専 門 基 礎 科 目	共通 環境理工学入門 技術者倫理 キャリア形成論	2	2							2 2		2	共通科目 4単位	専門基礎 科目28 単位	
	基礎 科学 系 科 目	情報処理入門 基礎からの力学 現代の物理学	2 2	2							2 2 2				基礎科学・環境科学 系科目 24単位
		線形代数Ⅰ 統計学Ⅰ	2 2									2 2			1科目必修
		現代の化学	2									2			「現代の科学」,「環境生 物学」,「基礎地球科学」 のうち1科目必修
		線形代数Ⅱ 統計学Ⅱ		2 2									2 2		
	環 境 科 学 系 科 目	水質学			2										環境科学系科目 8単位を含むこと
		基礎地球科学 環境生物学		2		2						2 2			「現代の科学」,「環境生 物学」,「基礎地球科学」 のうち1科目必修
		地球と環境 環境と地盤 気象と水象 エネルギーとエントロピー 循環型社会システム 実践型水辺環境学及び演習 環境影響評価学 環境と物質	2	2 2 2		2 2							2 2 2 2 2 2 2		
		変形体力学Ⅰ及び演習 測量学 測量学実習 情報処理及び演習 構造材料学 土質力学Ⅰ 水理学及び演習 廃棄物マネジメント 土質力学演習 外国書講読 大気環境学 都市・地域計画学 景観論Ⅰ 卒業論文※		4		2 3 2 2 2 4						3 2 1 3 2 2 3 2 1 2 2 2 2 2 10			必修科目 37単位
	[選択科目]A群 解析学 応用解析学A 応用解析学B 数値解析学	2			2							2 2 2 2			A群の選択必修科目 4単位
[選択科目]B群 変形体力学Ⅱ 振動学 耐震防災工学 コンクリート構造設計学Ⅰ コンクリート構造設計学Ⅱ 鋼構造設計学			2	2			2 2 2					2 2 2 2 2	B群の選択科目 6単位		
[選択科目]C群 土質力学Ⅱ 地下水環境工学 地盤工学 地盤環境工学				2 2			2 2					2 2 2 2	C群の選択科目 4単位		
[選択科目]D群 水理設計学及び演習 流域環境学 環境水理学 河川環境学 沿岸環境学				4 2			2 2		2			3 2 2 2 2	D群の選択科目 6単位		
[選択科目]E群 上下水道学 水環境解析 生態毒性学 衛生薬学Ⅱ(薬学部開講)						2 2 2		2				2 2 2 2	E群の選択科目 6単位		
[選択科目]F群 計画数理 交通計画学 景観論Ⅱ及び演習 環境計画学 計画学演習				2		2		4 2 2				2 2 3 2 1	F群の選択科目 6単位		
[選択科目]実験系 土質試験法及び実験 材料試験法及び実験 水理計測法及び実験 水・環境質計測法及び実験				2 2			2 2				1 1 1 1		実験系の選択必修科目 2単位		
[選択科目]実習系 環境デザイン工学インターシップ												1			

選択科目A群及び選択科目実験系は必ず履修し、選択科目B群～F群の5群のうち3群について「履修要件」を満たすこと。  
※卒業論文の可否判定は、卒業論文の内容と別途実施する学力試験及び技術者倫理レポートの成績により行う。

■環境管理工学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位			
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件				
ガイダンス科目	環境管理工学概論	○								2			2			
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修				
	人間と社会	○	○	○	○											
	健やかに生きる	○	○	○	○											
	自然と技術	○	○	○	○											
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○							4単位まで				
	自然科学	○	○	○	○						6	8単位まで				
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○							2単位まで			
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○									1単位まで			
情報科学												卒業要件単位外				
外 国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工3)		○							2	8単位まで				
		英語 (ネイティブ)	○								2					
		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)			○	○								4		
		基礎英語													卒業要件単位外	
		上級英語	○	○	○	○										
		英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○						
	ドイ ツ 語	ドイツ語初級	○	○								4	8単位まで			
		ドイツ語中級			○	○										
	フ ラ ンス 語	フランス語初級	○	○												
		フランス語中級			○	○										
	中 国 語	中国語初級	○	○												
		中国語中級			○	○										
	韓 国 語	韓国語初級	○	○												
		韓国語中級			○	○										
	ロ シ ア 語	ロシア語初級														
		ロシア語中級														
	ス ペ イ ン 語	スペイン語初級														
		スペイン語中級														
	イ タ リ ア 語	イタリア語初級														
		イタリア語中級														
日 本 語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○										留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる	
教養教育科目 計															33	

(注) 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

専門教育科目

科目区分	授業科目	週授業時間数								単位			履修要件	卒業要件単位			
		1年次		2年次		3年次		4年次		必修	選択	自由					
		前	後	前	後	前	後	前	後								
専門基礎科目	共通	環境理工学入門	2							2			共通科目 4単位	専門基礎科目 22単位			
		技術者倫理	2							2							
		キャリア形成論		2							2						
	基礎科学系科目		情報処理入門	2	2						2				基礎科学系 科目8単位		
			物理入門	2							2						
			現代の化学	2							2						
			統計学Ⅰ	2								2					
			統計学Ⅱ			2							2				
			基礎からの力学	2									2				
			物質化学入門	2									2				
	環境科学系科目		環境と生物	2							2				環境科学系 科目10単位		
			気象と水象		2						2						
			環境と地理		2						2						
		地球と環境	2								2						
		水質学			2							2					
		エネルギーとエントロピー			2							2					
		環境と物質			2							2					
		環境と地盤				2						2					
		環境生物学				2						2					
		環境影響評価学				2						2					
		基礎地球科学		2								2					
		循環型社会システム			2							2					
		実践型水辺環境学及び演習			2	2						4					
専門科目		環境管理数学	2							2			必修科目 58単位	専門科目 74単位			
		環境管理工学演習				2				1							
		分野演習					2			1							
		土壌科学概論		2						2							
		植生管理学		2						2							
		基礎地形情報学			2					2							
		土壌の物質移動学				2				2							
		生産基盤管理学					2			2							
		流体力学入門		2						2							
		流域水文学				2				2							
		水資源利用学					2			2							
		水文環境管理学						2		2							
		構造力学Ⅰ		2						2							
		構造力学Ⅱ			2					2							
		土質力学			2					2							
		環境施設設計学						2		2							
		地域景観論			2					2							
		土地利用計画学				2				2							
		公共財管理論					2			2							
		地域開発論					2			2							
		農村計画論				2				2							
		農村整備学					2			2							
		基礎地形情報学実習			6					2							
		環境生物学実験					3			1							
		土壌物理実験						3		1							
		水利実験						3		1							
		土質・コンクリート実験						3		1							
		卒業論文								10							
	選択科目		土壌圏管理学			2						2				2単位 以上	選択科目 16単位
			土壌物理学			2						2					
			水理学			2						2					
			地域経済学		2							2					
			応用解析学A			2						2					
		環境気象学				2					2		2単位 以上				
		地盤防災工学				2					2						
		環境経済学				2					2						
		環境情報処理				2					2						
		応用解析学B				2					2						
		水域環境管理学					2				2		2単位 以上				
		環境施設管理学					2				2						
		コンクリート工学					2				2						
		環境管理工学実習					6				2						
		地形情報管理学						2			2		2単位 以上				
		森林環境論						2			2						
	景観管理学						2			2							
	外国書講読						2			2							
	地形情報管理学実習						6			2							
	土地利用計画学演習						4			2							

■環境物質工学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境物質工学概論	○								2			2		
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	○	○	○	○										
	健やかに生きる	○	○	○	○										
	自然と技術	○	○	○	○										
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○							6単位まで			
	自然科学	○	○	○	○						7	7単位まで			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○							2単位まで		
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○									1単位まで		
情報科学												卒業要件単位外			
外 国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工4)		○							2	8単位まで			
		英語 (ネイティブ)	○								2				
		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)			○	○								4	
		基礎英語													卒業要件単位外
		上級英語	○	○	○	○									
		英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○					
	ドイ ツ 語	ドイツ語初級	○	○								4	8単位まで		
		ドイツ語中級			○	○									
	フ ラ ンス 語	フランス語初級	○	○											
		フランス語中級			○	○									
	中 国 語	中国語初級	○	○											
		中国語中級			○	○									
	韓 国 語	韓国語初級	○	○											
		韓国語中級			○	○									
	ロ シ ア 語	ロシア語初級													
		ロシア語中級													
	ス ペ イ ン 語	スペイン語初級													
		スペイン語中級													
	イ タ リ ア 語	イタリア語初級													
		イタリア語中級													
日 本 語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○									留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる	
教養教育科目 計														35	

(注) 1 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

2 「個別科目」の「自然科学」の中から、生物、物理、地学のいずれかを主たる内容とする科目（実験を除く）を必ず1科目以上修得すること。ただし、専門基礎科目「現代の物理学」「基礎からの力学」をもってこれに代えることができる。

また、「教養物理学実験」は、専門科目「環境化学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」の履修に必要なので必ず修得すること。

専門教育科目

科目区分	授業科目	週授業時間数								単位			履修要件	卒業要件 単 位	
		1年次		2年次		3年次		4年次		必修	選択	自由			
		前	後	前	後	前	後	前	後						
専門基礎科目	共通	環境理工学入門	2							2			共通科目 4～6単位	専門基礎 科目24 単位	
		技術者倫理	2							2					
		キャリア形成論		2							2				
		基礎科学系科目	プログラミング入門	2						2			基礎科学系必修科目 6単位と選択科目8 単位以上		
			基礎物理化学	2						2					
			物質数理科学		2					2					
			情報処理入門	2							2				
			工学基礎	2							2				
			統計学Ⅰ	2							2				
			統計学Ⅱ		2							2			
		現代の物理学			2						2				
		基礎からの力学	2								2				
		物質化学入門	2								2				
	環境科学系科目	循環型社会システム			2					2		環境科学系必修科目 4単位と選択科目2 単位以上			
		環境影響評価学				2									
		環境と生物			2						2				
		気象と水象		2							2				
		地球と環境	2								2				
		水質学			2						2				
		エネルギーとエントロピー			2						2				
		環境と物質			2						2				
		環境生物学				2					2				
		基礎地球科学			2						2				
		実践型水辺環境学及び演習			2	2					4				
専門科目	専 門	物理化学A		2						2			必修科目 43単位	専門科目 71単位	
		熱力学			2					2					
		物理化学B				2				2					
		物理化学C					2			2					
		化学結合論Ⅰ		2						2					
		化学結合論Ⅱ			2					2					
		無機化学				2				2					
		有機化学Ⅰ	2							2					
		有機化学Ⅱ		2						2					
		高分子化学Ⅰ					2			2					
		化学工学A			2					2					
		化学工学B				2				2					
		反応工学						2		2					
		外国書講読					2			2					
		環境分析化学実験			6					2					
		環境化学実験Ⅰ							3	1					
		環境化学実験Ⅱ							3	1					
	環境化学実験Ⅲ							3	1						
	卒業論文								10						
	科 目	専 門	応用解析学A			2						2			3科目選択必修
			応用解析学B				2					2			
			環境分析化学			2						2			
			機器分析					2				2			
		専 門	固体化学					2				2			1科目選択必修
			セラミックス物性化学						2			2			
			無機材料化学						2			2			
		専 門	有機化学Ⅲ			2						2			1科目選択必修
			環境有機化学					2				2			
高分子化学Ⅱ								2			2				
分離工学							2				2				
専 門	環境触媒化学					2				2		1科目選択必修			
	微粒子工学						2			2					
	化学装置設計							2		2					
	環境政策論					2				2					
専 門	労働環境工学					2				2		3科目選択必修			
	環境物質工学実習					1				1					
	環境物質工学各論Ⅰ								1		1				
	環境物質工学各論Ⅱ								1		1				

## V 授業科目の履修について

### 1 履修上の注意

授業科目は、教養教育科目と専門教育科目に分かれており、各学科の授業科目、単位数及び履修方法等は、「IV 岡山大学環境理工学部履修細則」のとおりです。教養教育科目履修の手引き・授業時間表、環境理工学部時間割表、学生便覧及びシラバス等に基づき履修計画を立て、前期及び後期それぞれの学期ごとに定められた期間内に、履修手続を行ってください。

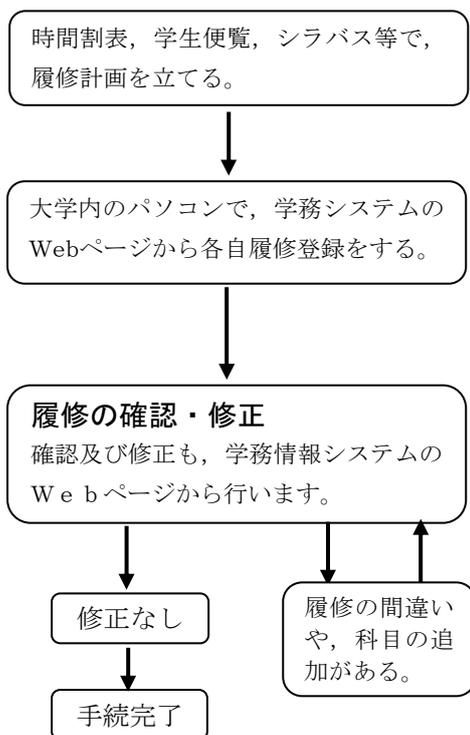
### 2 授業科目の履修登録について

履修登録は、大学内に設置されているパソコンから、学務システムのWebページ（インターネット）により行います。入学時に配布された学務システムの利用に必要なパスワード等は、忘れたり紛失したりしないように注意してください。

学務システムURL : <http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/index.html>

「岡山大学HP」→「在学生・教職員の皆様へ」→「在学生のためのキャンパスライフ」  
→「学務システム（履修・成績など）」

#### 【履修手続の流れ】



#### 履修手続期間：

前期（4月中旬～下旬）、後期（10月上旬～中旬）  
（履修手続の日程は掲示により通知します。）

#### ＜注意＞

履修登録をした当日には、履修のエラー（間違い）の表示は画面に表示されません。翌日以降に必ずもう一度画面を見て履修エラーの有無を確認してください。履修エラーがあった場合は、必ず履修手続期間内に自修正を行ってください。

確認をしなかったことによる履修漏れ、履修の間違い等があっても、原則として履修科目の追加・変更はできません。

### 3 教養教育科目の履修登録上制限

環境理工学部では、教養教育科目における履修登録上制限を実施しています。教養教育科目の履修登録単位数が前期・後期を合算して**26単位以下**になるように履修計画を立ててください。（この26単位には、取得できなかった単位数も含むことに注意してください。）

### 4 他学部の授業科目の履修について

#### 1) 教職に関する科目

教育職員免許状取得のための教育学部の授業科目（教職に関する科目）を履修する場合は、教育学部の講義番号で登録してください。

## 2) 他学部開設の授業科目

他学部開設の授業科目の履修を希望する場合は、授業担当教員及び所属学科の承認を得て履修登録を行ってください。授業科目によっては卒業要件として認められないものがあるので注意が必要です。

## 5 平成19年度以前入学者の履修について

カリキュラムの変更等のため、一部科目が平成19年度以前入学者の入学時の授業科目名と異なる授業科目名で開講されている場合があります。履修にあたっては所属学科等の指導に従い、授業科目の読み替えに留意して本年度の履修計画を立ててください。

卒業要件単位数及び卒業論文履修資格単位数については、入学年度の学生便覧を参照してください。ただし、環境数理学科の平成15年度及び平成16年度入学者並びに環境デザイン工学科の平成16年度入学者の卒業論文履修資格単位数については、入学年度の学生便覧の記載から変更されていますので十分注意し、不明な点は必ず所属学科で確認してください。

### [1] 平成20年度開講授業科目の履修について

#### ■教養教育科目

教養教育科目の科目区分が平成14年度、平成18年度、平成19年度及び平成20年度に変更されているので、入学年度に対応する「教養教育科目履修の手引き」を参考に履修してください。

#### ■専門科目

1. 平成18年度以前入学者が「キャリア形成論」を履修した場合の取り扱いは次のとおりです。

学科	取り扱い
環境数理学科	専門科目・自由科目
環境デザイン工学科	専門基礎科目・学部共通科目・選択科目
環境管理工学科	専門基礎科目・学部共通科目・選択科目
環境物質工学科	平成15年度以前入学者 専門基礎科目・基礎科学系科目・選択科目
	平成16～18年度入学者 専門基礎科目・学部共通科目・選択科目

2. 下記科目は平成20年度「専門科目」で開講されますが、平成19年度以前入学者が履修した場合は「専門基礎科目」となります。

学科	平成19年度以前入学者		平成20年度開講科目				
		授業科目		講義番号	授業科目		
環境数理学科	専門基礎科目	基礎科学系科目	専門科目		微分積分Ⅰ		
					106022	微分積分Ⅰ	
					微分積分Ⅰ演習	106024	微分積分Ⅰ演習
					微分積分Ⅱ	106023	微分積分Ⅱ
				106025	微分積分Ⅱ演習		

3. その他

[2] 平成20年度開講読替授業科目等 を参考に履修してください。

[2] 平成20年度開講読替授業科目等

■ 専門基礎科目の履修について

入学年度 科目	平成15年度入学者		平成16～19年度入学者	平成20年度開講科目	
	授業科目	単位	授業科目	講義番号	授業科目
基礎科学系 科目	情報処理	2	情報処理(Fortran言語)	105045	情報処理(Fortran言語)
			情報処理(C言語)	105046	情報処理(C言語)
	力学入門	2	基礎からの力学	105047	基礎からの力学
	物理学実験	1	物理学実験 (16年度入学者) →下記「教養物理学実験」を 履修してください。	—	
教養物理学実験 (17年度以降入学者)			912311	教養物理学実験	
環境科学系 科目	環境生物・化学	2	水質学	105050	水質学
	地域社会と環境	2	環境と地盤	105048	環境と地盤
	環境植物学	2	環境生物学	105052	環境生物学

\*「環境と地盤」については、「都市と環境」の代わりとして開講します。

\*平成16年度以前入学者で「自然と科学」を未修得の学生は、対応を別途掲示等により指示しますので、所属学科の指示に従ってください。

\*平成16年度以前入学者で「物理学実験」を未修得の学生は「教養物理学実験」(教養教育科目)を履修してください。

■ 専門科目  
環境数理学科

平成15～18年度入学者	平成19年度入学者	平成20年度開講科目		備考
授業科目	授業科目	講義番号	授業科目	
(専門基礎科目)	(専門基礎科目)	106022	微分積分Ⅰ	
		106023	微分積分Ⅰ演習	
		106024	微分積分Ⅱ	
		106025	微分積分Ⅱ演習	
計算機リテラシ入門	計算機リテラシ入門	106015	計算機リテラシ入門	
離散数学入門	離散数学入門	106016	離散数学入門	
微分方程式論	応用解析学A	106001	応用解析学A	
ベクトル解析	ベクトル解析	106018	ベクトル解析	
情報統計学	情報統計学	106019	情報統計学	
数理統計学Ⅰ	数理統計学Ⅰ	106006	数理統計学Ⅰ	
プログラミング言語	プログラミング言語	106021	プログラミング言語	
卒業論文	卒業論文	106014	卒業論文	
情報課題研究	情報課題研究	106020	情報課題研究	
計算機操作入門	計算機操作入門	106120	計算機操作入門	
計算機理論入門	計算機理論入門	106121	計算機理論入門	
線形代数Ⅲ	線形代数Ⅲ	106122	線形代数Ⅲ	
グラフとアルゴリズム	グラフとアルゴリズム	106123	グラフとアルゴリズム	
プログラミング言語演習	プログラミング言語演習	106143	プログラミング言語演習	
計算解析Ⅰ	計算解析	106141	計算解析	
計算解析Ⅱ	数値シミュレーションⅠ	106146	数値シミュレーションⅠ	
代数学Ⅰ	代数学Ⅰ	106101	代数学Ⅰ	
代数学Ⅱ	代数学Ⅱ	106104	代数学Ⅱ	
幾何学基礎	幾何学基礎	106126	幾何学基礎	
幾何学要論	幾何学要論	106127	幾何学要論	
複素関数論	応用解析学B	106003	応用解析学B	
フーリエ解析	フーリエ解析と偏微分方程式	106153	フーリエ解析と偏微分方程式	
偏微分方程式論	偏微分方程式とその応用	106144	偏微分方程式とその応用	
確率論	確率論	106131	確率論	
応用数理Ⅰ	応用数理Ⅰ	106217	応用数理Ⅰ	集中講義
応用数理Ⅱ	応用数理Ⅱ			非開講
応用数理特論Ⅰ	—			非開講
応用数理特論Ⅱ	—			非開講
実験数理	実験数理	106132	実験数理	
実験情報数理	実験情報数理			非開講
環境アナリシスⅠ	環境アナリシス	106148	環境アナリシス	
環境アナリシスⅡ	環境数理モデルB			非開講
環境情報モデル学Ⅰ	数値シミュレーションⅡ			非開講
環境情報モデル学Ⅱ	環境情報モデル学	106149	環境情報モデル学	
環境数理解析	力学系とモデリング	106145	力学系とモデリング	
数理生物学特論	環境数理生物学	106150	環境数理生物学	
環境数理モデル	環境数理モデルA	106151	環境数理モデルA	集中講義
数理統計学Ⅱ	数理統計学Ⅱ			非開講
環境統計科学Ⅰ	環境統計科学Ⅰ			非開講
環境統計科学Ⅱ	環境統計科学Ⅱ	106211	環境統計科学Ⅱ	
計算統計学Ⅰ	計算統計学Ⅰ	106138	計算統計学Ⅰ	
計算統計学Ⅱ	計算統計学Ⅱ	106139	計算統計学Ⅱ	
計量アナリシスⅠ	計量アナリシスⅠ	106118	計量アナリシスⅠ	
計量アナリシスⅡ	計量アナリシスⅡ			非開講
環境統計モデル	環境統計モデル	106218	環境統計モデル	集中講義
外国書講読	環境数理学演習	106142	環境数理学演習	
情報と職業	情報と職業	106213	情報と職業	
情報数理インターンシップ	情報数理インターンシップ	106214	情報数理インターンシップ	
情報化社会と技術	情報化社会と技術	106216	情報化社会と技術	
計算機アーキテクチャⅠ	計算機アーキテクチャⅠ	106215	計算機アーキテクチャⅠ	

※平成20年度は一部授業科目が新カリキュラムの授業科目名で開講されます。平成19年度以前入学者は、対応する授業科目を十分確認のうえ履修してください。

※平成16年度以前入学者が専門基礎科目「循環型社会システム」を修得した場合は、専門科目の選択科目に算入されます。

環境デザイン工学科 授業科目読み替え表

区分	平成15年度以前入学者	平成16年度入学者	平成17年度入学者	平成18年度入学者	平成19年度入学者	平成20年度入学者	
専 門 基 礎 科 目	自然と科学	自然と科学	循環型社会システム				
	(専門の選択科目)	技術者倫理					
	卒業要件外	卒業要件外	キャリア形成論				
	力学入門	基礎からの力学					
	情報処理	情報処理 (C言語)					情報処理及び演習
		情報処理 (Fortran言語)				情報処理 (Fortran言語) (選択A群)	
	基礎線型数理学Ⅰ	線形代数Ⅰ					
	基礎線型数理学Ⅱ	線形代数Ⅱ					
	環境植物学	環境生物学					
	環境生物・化学	水質学					
	自然と科学修得者は専門の選択科目	自然と科学修得者は専門基礎・環境科学・選択基礎	循環型社会システム				
	卒業要件外	卒業要件外	実践型水辺環境学及び演習				
	H13 都市と環境	環境と地盤					
	H14～15 地域社会と環境						
専 門 科 目	環境水理学	環境水理				環境水理学	
	環境デザイン工学演習	環境デザイン工学インターンシップ					
	(専門の選択科目)	プログラミング言語 (環境数理学科)			(H20以降非開講)		
	(専門の選択科目)	A群				解析学	
	(専門の選択科目)	応用解析学A (環境数理学科)					
	(専門の選択科目)	応用解析学B (環境数理学科)					
	変形体力学Ⅰ 「変形体力学Ⅰ」のみ取得の場合は、専用の講義番号107006で登録	変形体力学Ⅰ及び演習					
	構造解析学 「構造解析学」のみ取得の場合は、専用の講義番号107127で登録						
	変形体力学Ⅱ・ 設計製図 専用の講義番号107126で登録すること。	変形体力学Ⅱ及び演習 平成16年～平成18年入学者は、「変形体力学Ⅱ」と「振動学」を同時に履修すること。			変形体力学Ⅱ 振動学		
	コンクリート構造設計学Ⅰ	コンクリート構造設計学及び演習		コンクリート構造設計学Ⅰ			
	コンクリート構造設計学Ⅱ			コンクリート構造設計学Ⅱ			
	構造材料学	構造材料学	構造材料学及び実験 平成16年度入学者は、「構造材量学及び実験」を必ず通年で履修すること。「構造材量学」と「材料試験法及び実験」の2科目に読み替えます。			構造材料学	
	土質・材料試験法及び実験 ※平成15年度以前入学者は、「構造材料学及び実験」または「材料試験法及び実験」と「土質試験法及び実験」を取得した場合に「土質・材料試験法及び実験」の単位となる。	土質試験法及び実験					
	耐震防災工学	耐震防災工学			(専門の選択科目)	耐震防災工学	
	環境振動論入門	環境振動論			(H20以降非開講)		
	地盤調査法	土質力学演習					
	岩盤工学	地下空間工学				地盤工学	
	地盤環境工学	地盤環境防災工学				地盤環境工学	
	水理学	水理学及び演習 平成16年～平成18年入学者は、水理学と水理学演習を同時に履修すること。両方の単位を取得して初めて「水理学及び演習」に読み替える。			水理学		水理学及び演習
	水工学演習				水理学演習		
	水理設計学 「水理設計学」のみ取得の場合は、専用の講義番号107106で登録	水理設計学及び演習					
	水資源工学 「水理学演習」のみ取得の場合は、専用の講義番号107170で登録						
	水理・水質計測法及び実験	水理計測法及び実験				水・環境質計測法及び実験	
	(専門の選択科目)	選択科目D群 選択科目	流域水文学 (環境管理工学科)			流域環境学	
	環境質制御	上下水道学					
	環境水質解析	水環境解析					
	地球環境論	廃棄物マネジメント					
	生態工学	生態毒性学					
	(専門の選択科目)	公衆衛生学 (薬)	衛生薬学Ⅱ (薬)				
	(専門の選択科目)	都市経済学 (経済)	21年度まで開講			廃止	
	(専門の選択科目)	地域経済学 (経済)	21年度まで開講			廃止	
	H13 社会システム工学	計画数理					
	H13 都市・地域計画	都市・地域計画学					
	H13 地球環境計画	環境計画学					
(専門の選択科目)	計画学演習						
文明と環境形成の歴史	文明と環境形成の歴史			景観論Ⅰ			
地形・地理情報解析	地形・地理情報解析				廃止 (平成19年度以前の入学者で履修希望者には、集中講義等で対応します。)		
H13 運輸交通計画	交通計画学						
景観論及び演習	景観論及び演習			景観論Ⅱ及び演習			
大気計測法及び実験、構造計測法及び実験、環境地盤工学、人間社会と環境	非開講。ただし、平成15年度以前の入学者で履修希望者には、集中講義等で個別に対応します。						

※平成20年度は、太字の授業科目名が開講されます。

(注) この科目は入学年度により卒業要件の科目区分が異なります。入学年度の学生便覧で確認してください。

■ 専門科目  
環境管理工学科

平成14, 15年度入学者			平成16年度以降入学者			備 考
授 業 科 目	単 位	要件	講義番号	授 業 科 目	要件	
基礎地形情報学	2	必修	108014	基礎地形情報学	必修	
基礎地形情報学実習	2	必修	108015	基礎地形情報学実習	必修	
土壌科学概論	2	必修	108003	土壌科学概論	必修	
植生管理学	2	必修	108004	植生管理学	必修	
土壌物理学	2	必修	108005	土壌物理学	選択	
流体力学入門	2	必修	108006	流体力学入門	必修	
流域水文学	2	必修	108007	流域水文学	必修	
構造力学Ⅰ	2	必修	108008	構造力学Ⅰ	必修	
土質力学	2	必修	108009	土質力学	必修	
環境経済学	2	必修	108010	環境経済学	選択	
土地利用計画学	2	必修	108011	土地利用計画学	必修	
地域景観論	2	必修	108012	地域景観論	必修	
環境生物学実験	1	必修	108114	環境生物学実験	必修	
土壌物理実験	1	必修	108115	土壌物理実験	必修	
水利実験	1	必修	108116	水利実験	必修	
土質・コンクリート実験	1	必修	108117	土質・コンクリート実験	必修	
卒業論文	10	必修	108013	卒業論文	必修	
講座演習	1	選択	108101	講座演習	必修	
分野演習Ⅰ	1	選択	108017	分野演習	必修	
分野演習Ⅱ	1	選択				非 開 講
水域環境管理学	2	選択	108104	水域環境管理学	選択	
土壌圏管理学	2	選択	108105	土壌圏管理学	選択	
生産基盤管理学	2	選択	108106	生産基盤管理学	必修	
水資源利用学	2	選択	108107	水資源利用学	必修	
水文環境管理学	2	選択	108108	水文環境管理学	必修	
環境施設設計学	2	選択	108109	環境施設設計学	必修	
環境施設管理学	2	選択	108110	環境施設管理学	選択	
公共財管理論	2	選択	108111	公共財管理論	必修	
地域経済学	2	選択	108112	地域経済学	選択	
景観管理学	2	選択	108113	景観管理学	選択	
地形情報管理学	2	選択	108118	地形情報管理学	選択	
環境情報処理	2	自由	108201	環境情報処理	選択	
地形情報管理学実習	2	自由	108218	地形情報管理学実習	選択	
外国書講読	2	自由	108212	外国書講読	選択	
土壌の物質移動学	2	自由	108204	土壌の物質移動学	必修	
水理学	2	自由	108206	水理学	選択	
環境気象学	2	自由	108207	環境気象学	選択	
構造力学Ⅱ	2	自由	108208	構造力学Ⅱ	必修	
地盤防災工学	2	自由	108209	地盤防災工学	選択	
地域開発論	2	自由	108210	地域開発論	必修	
土地利用計画学演習	2	自由	108211	土地利用計画学演習	選択	
環境管理工学実習	2	自由	108213	環境管理工学実習	選択	
森林環境論	2	自由	108214	森林環境論	選択	
農村整備学	2	自由	108215	農村整備学	必修	
水質管理学	2	自由				非 開 講
コンクリート工学	2	自由	108217	コンクリート工学	選択	
環境管理数学	2	自由	108219	環境管理数学	必修	
応用解析学A	2	自由	106001	応用解析学A	選択	
応用解析学B	2	自由	106002	応用解析学B	選択	
(農村計画論)	2	(自由)	108016	農村計画論	必修	

■ 専門科目  
環境物質工学科

平成11～14年度入学者		履修要件 ・単位		平成15年度以降入学者		備考
	授業科目	必修	選択	講義番号	授業科目	
必修科目 55単位	物理化学Ⅰ	2		109029	物理化学A	
	物理化学Ⅱ	2		109026	熱力学	
	物理化学Ⅲ	2		109030	物理化学B	
	物理化学Ⅳ	2		109031	物理化学C	
	有機化学Ⅰ	2		109005	有機化学Ⅰ	
	有機化学Ⅱ	2		109006	有機化学Ⅱ	
	有機化学Ⅲ	2		109007	有機化学Ⅲ	
	高分子化学Ⅰ	2		109008	高分子化学Ⅰ	
	化学結合論Ⅰ	2		109009	化学結合論Ⅰ	
	化学結合論Ⅱ	2		109010	化学結合論Ⅱ	
	無機化学Ⅰ	2		109027	無機化学	
	無機化学Ⅱ	2				非開講
	固体化学Ⅰ	2		109121	固体化学	
	環境分析化学	2		109014	環境分析化学	
	化学工学Ⅰ	2		109033	化学工学B	
	化学工学Ⅱ	2		109124	分離工学	
	化学工学Ⅲ	2		109125	微粒子工学	
	反応工学	2		109018	反応工学	
	外国書講読Ⅰ	2		109034	外国書講読	
	外国書講読Ⅱ	2				非開講
環境分析化学実験	2		109021	環境分析化学実験		
環境化学実験Ⅰ	1		109022	環境化学実験Ⅰ		
環境化学実験Ⅱ	1		109023	環境化学実験Ⅱ		
環境化学実験Ⅲ	1		109024	環境化学実験Ⅲ		
卒業論文	10		109025	卒業論文		
選択科目 18単位	機器分析		2	109101	機器分析	
	固体物性化学		2			非開講
	環境有機化学		2	109103	環境有機化学	
	環境触媒化学		2	109104	環境触媒化学	
	高分子化学Ⅱ		2	109105	高分子化学Ⅱ	
	再資源材料学		2			非開講
	セラミック構造材料化学		2			非開講
	固体化学Ⅱ		2			非開講
	機能材料学		2	109122	セラミックス物性化学	
	環境化学工学		2			非開講
	移動速度論		2	109032	化学工学A	
	環境政策論		2	109112	環境政策論	
	化学装置設計		2	109113	化学装置設計	
	有機機能物質化学		2			非開講
	労働環境工学		2	109115	労働環境工学	非開講
	環境物質工学各論Ⅰ		1	109116	環境物質工学各論Ⅰ	
	環境物質工学各論Ⅱ		1	109117	環境物質工学各論Ⅱ	
	環境物質工学各論Ⅲ		1			非開講
	環境物質工学各論Ⅳ		1			非開講
	応用解析学A		2	106001	応用解析学A	
応用解析学B		2	106002	応用解析学B		

※平成14年度以前入学者は、平成15年度以降入学者に対応する授業科目を履修してください。

※消失科目、非開講科目については担当教員または教務担当に問い合わせてください。

## 6 外部検定試験による単位認定

外部検定試験（TOEIC、英検ほか）の級又は得点によっては、教養教育科目の外国語科目の単位認定を受けることができます。対象となる検定試験及び基準は次のとおりです。

### 外部検定試験における単位認定基準（平成20年度入学者用）

※平成19年度以前入学者については、入学年度の学生便覧で認定基準を確認してください。

科 目	認定の対象とする外部検定試験等	合 格 基 準	認定する授業科目・単位数
英 語	【英語関係Ⅰ】 Test of English for International Communication (TOEIC・IPを含む)	470～585点 (OT3) 590～725点 (OT2)	別表の③から⑥の中より選択 2単位 別表の③から⑥の中より選択 4単位
	実用英語技能検定 (英 検)	準 1 級	別表の①から⑥の中より選択 4単位
	国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検)	B 級	
	Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む)	500点以上	
	Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT)	173点以上	
	Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	61点以上	
	【英語関係Ⅱ】 Test of English for International Communication (TOEIC・IPを含む)	730点以上 (OT1)	英語 (ネイティブ) 2単位 及び 別表の③から⑥の中より選択 4単位
	実用英語技能検定 (英 検)	1 級	別表の①から⑥の中より選択 8単位
	国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検)	A 級	
	Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む)	550点以上	
Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT)	213点以上		
Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	79点以上		
ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験 (独検)	4 級	ドイツ語初級Ⅰ (文法) } ドイツ語初級Ⅰ (読本) } 4単位 ドイツ語初級Ⅱ (文法) } ドイツ語初級Ⅱ (読本) } 又は ドイツ語初級Ⅰ (総合) 4単位
		3 級 以 上	ドイツ語初級Ⅱ (総合) 又は ドイツ語中級 4単位
フ ラ ンス 語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	5 級	フランス語初級Ⅰ (文法) 又は フランス語初級Ⅰ (読本) 2単位
		4 級	フランス語初級Ⅰ (文法) } フランス語初級Ⅰ (読本) } 4単位 フランス語初級Ⅱ (文法) } フランス語初級Ⅱ (読本) } 又は フランス語初級Ⅰ (総合) 4単位
		3 級 以 上	フランス語初級Ⅱ (総合) 又は フランス語中級 4単位

科目	認定の対象とする外部検定試験等	合格基準	認定する授業科目・単位数
韓国語	韓国語能力試験	1 級	韓国語初級Ⅰ（文法） 韓国語初級Ⅰ（読本） 韓国語初級Ⅱ（文法） 韓国語初級Ⅱ（読本） 又は 韓国語初級Ⅰ（総合） 4単位
		2 級以上	韓国語初級Ⅱ（総合）又は 韓国語中級 4単位
イタリア語	実用イタリア語検定	5 級	イタリア語初級Ⅰ（文法）又は イタリア語初級Ⅰ（読本） 2単位
		4 級	イタリア語初級Ⅰ（文法） イタリア語初級Ⅰ（読本） イタリア語初級Ⅱ（文法） イタリア語初級Ⅱ（読本） 4単位
		3 級以上	イタリア語中級 4単位
スペイン語	スペイン語技能検定	6 級	スペイン語初級Ⅰ（文法）又は スペイン語初級Ⅰ（読本） 2単位
		5 級	スペイン語初級Ⅰ（文法） スペイン語初級Ⅰ（読本） スペイン語初級Ⅱ（文法） スペイン語初級Ⅱ（読本） 4単位
		4 級以上	スペイン語中級 4単位

- 備考 1 成績の取り扱いは「認定」とします。  
2 外部検定試験等による単位認定は、一外国語につき8単位を限度とします。  
3 英語に関しては、【英語関係Ⅰ】と【英語関係Ⅱ】は重複して単位認定の対象とします。  
4 ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、イタリア語及びスペイン語に関しては、一つの授業科目について外部検定試験等による単位認定は1回限りとします。

別表

項番	授業科目名
①	英語（環境理工1・2・3・4）
②	英語（ネイティブ）
③	英語（オラコン）
④	英語（作文・文法）
⑤	英語（読解）
⑥	英語（検定）

単位認定の申請について

年に2回（9月認定、3月認定）申請を受け付けますので、単位認定願等の必要書類を提出してください。提出期間等詳細はその都度掲示します。